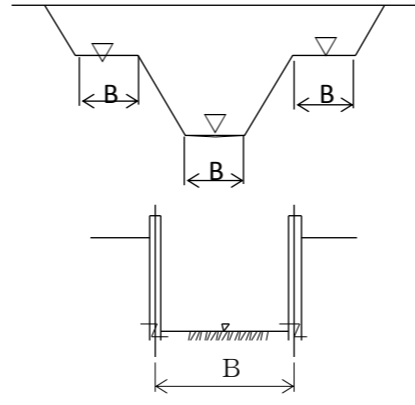
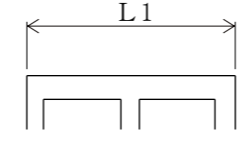
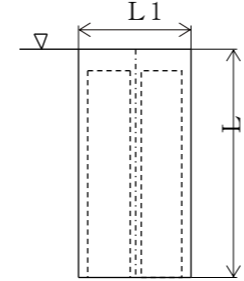
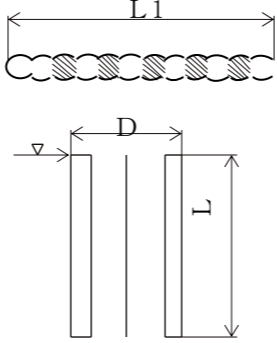
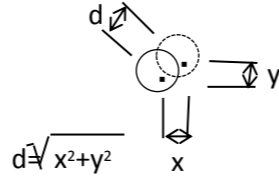
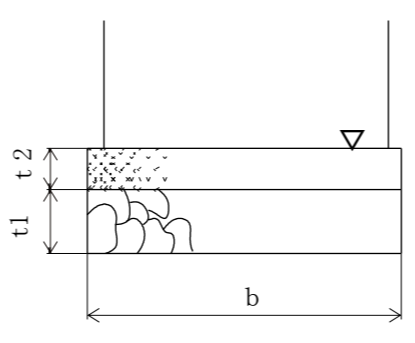
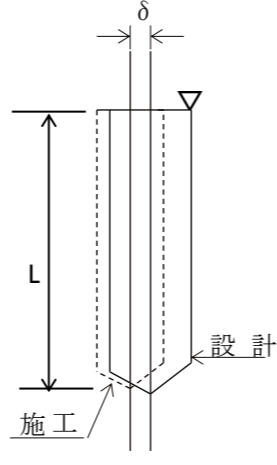
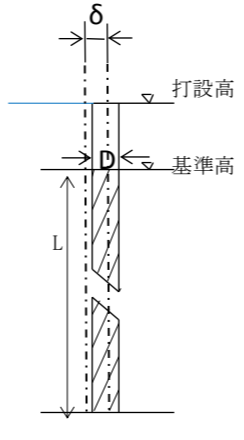
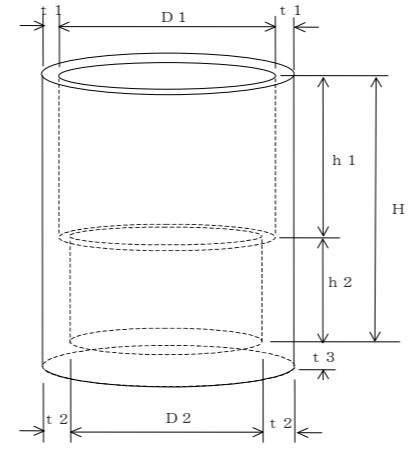


9-3.別表「出来形管理基準及び規格値」(処理場・抽水所施設工事)

区分	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	写真管理基準	適用
処 理 場	土 工 (掘削)	基準高 ▽	±30mm	施工延長概ね40m(小規模なものは20m)毎に基準測線を設定し、基準高を10m以内ごと、及び変化点ごとに測定する。		測定基準ごとに掘削及び測定状況(幅、深さ全景等)を撮影する。  (丁張り等と地盤高との対比写真を撮影すること。)	
		幅 B	-100mm				
抽 水 所	仮 設 工 (連続地中壁工 壁 式) (コンクリート壁)	基準高 ▽	±50mm	基準高、地中壁の長さについては、施工延長20mごと及びその端数について測定する。		測定基準ごとに地中壁の測定状況(長さ、全景等)を撮影する。	
		地中壁の長さ L1	-50mm				
		変位	300mm	変位、壁体長については、各エレメントごとに測定する。			
		壁体長 L	設計値以上				
施 設 工 事	仮 設 工 (地中連続壁工 柱 列 式) (ソイル壁)	基準高 ▽	±50mm	基準高、地中壁の長さについては、施工延長20mごと及びその端数について測定する。		測定基準ごとに地中壁の測定状況(長さ、全景等)を撮影する。	
		地中壁の長さ L1	-50mm				
		変位	D/4以内	変位、壁体長については各エレメント(ソイル壁3本、PIP1本)ごとに測定する。			
		壁体長 L	設計値以上				
事	仮 設 工 (グラウトアンカー工)	削孔深さ L	設計深さ以上	全数について測定する。(任意仮設は除く)		測定基準ごとに施工及び測定状況等を撮影する。	
		配置誤差 d	100mm				

9-3.別表「出来形管理基準及び規格値」(処理場・抽水所施設工事)

区分	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	写真管理基準	適用
処 理 場	基礎工 (基礎礫 捨コンクリート)	幅 b	設計値以上	施工延長20mにつき1箇所以上測定し る。施工延長20m以下は、1施工箇所 につき2箇所測定する。		測定基準ごとに基礎礫の施工及び測定状況 (幅、厚さ及び全景等)並びに捨コンクリートの 打設状況(幅、厚さ及び全景等)を撮影する。	
		厚さ t1 t2	設計値以上				
		延長	各構造物の規格値に よる。				
		基準高 ▽	±30mm				
抽 水 所	基礎杭工 (既製杭)	基準高 ▽	±50mm	全数について杭中心で測定する。		杭の施工本数10本及びその端数につき1回打 ち込み状況等撮影する。	
		根入長 L	設計値以上				
		偏心量	D/4以内かつ100mm				
施 設 工 事	基礎杭工 (場所打ち杭)	基準高 ▽	±50mm	全数について杭中心で測定する。		杭の施工本数10本及びその端数につき1回杭 の施工状況等を撮影する。	
		根入長 L	設計値以上				
		偏心量 δ	D/4以内かつ100mm				
		杭径 D	設計値以上				
施 設 工 事	施設築造工 (円形構造物)	基準高 ▽	±30mm	内径及び厚さは、4方向以上において、 1方向2点以上を測定する。		測定基準ごとに構造物の築造状況(内径、高 さ、厚さ及び全景等)を撮影する。	
		内径 D	-30mm				
		厚さ t1、t2	-30mm				
		厚さ t3	-30mm				
		高さ H	-30mm				

9-3.別表「出来形管理基準及び規格値」(処理場・抽水所施設工事)

区分	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	写 真 管 理 基 準	適 用
処 理 場	施設築造工 (ポンプ場・処理場の池・槽の主要構造部)	基準高 ▽	±30mm	1池(又は1槽)について、図面の主要な寸法表示箇所を測定する。		主要な寸法表示箇所の築造及び測定状況(幅、高さ、厚さ、及び全景等)を適宜撮影する。	
		幅 b	±30mm				
		高さ h	±30mm				
		長さ L	±50mm				
		厚さ t	-20mm (床版厚-10mm)				
		(蛇行量 X1, X2)	±30mm	蛇行量、垂直度は、沈殿池等で掻寄機等を据付ける場合の池・槽について測定する。			
		(垂直度)	±20mm				
抽 水 所	施設築造工 (池・槽の付属構造物)	基準高 ▽	±20mm	1施工箇所ごとに図面の主要な寸法表示箇所を測定する。		主要な寸法表示箇所の築造及び測定状況(幅、高さ、厚さ、及び全景等)を適宜撮影する。	
		幅 b	±20mm				
		高さ h	±20mm				
		長さ L	±50mm				
		壁厚 t	±10mm				
施 設	施設築造工 (開口部)	幅 b	±20mm	永久開口部ごとに測定する。		開口箇所の築造及び測定状況(幅、高さ及び全景等)を適宜撮影する。	
		高さ h	±20mm				
工 事	施設築造工 (ゲート用開口部)	基準高 ▽	+0mm -20mm	開口部ごとに測定する。		開口部の築造及び測定状況(幅、高さ及び全景等)を適宜撮影する。	
		幅 b	+20mm -0mm				
		高さ h	±20mm				

9-3.別表「出来形管理基準及び規格値」(処理場・抽水所施設工事)

区分	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	写真管理基準	適用
処 理 場	施設築造工 〔処理場の流出とい〕	基準高 $\nabla$	$\pm 20\text{mm}$	基準高は、1施工箇所ごと毎に交差点等を測定する。		流出といの築造及び測定状況(幅、高さ、長さ及び全景等)を適宜撮影する。	
		幅 b	$\pm 20\text{mm}$	幅、高さ、厚さは、各池の1施工箇所について3箇所測定する。			
		高さ h	$-20\text{mm}$				
		厚さ t	$\pm 20\text{mm}$				
		長さ	$\pm 50\text{mm}$	長さは、各池外周部の1施工箇所について測定する。			
抽 水 所	施設築造工 (流入渠・流出渠)	基準高 $\nabla$	$\pm 30\text{mm}$	設計図の寸法表示箇所を測定する。		築造及び測定状況(幅、高さ、厚さ、及び全景等)を適宜撮影する。	
		幅 b	$-30\text{mm}$				
		高さ h	$-30\text{mm}$				
		厚さ t	$-20\text{mm}$				
施 設	基礎工 (矢板工)	基準高 $\nabla$	$\pm 50\text{mm}$	施工延長20mにつき1箇所測定する。 20m未満は、1施工単位につき2箇所測定する。		測定基準ごとに打設及び測定状況等を撮影する。	
		根入長 L	設計値以上				
		変位	100mm				
工 事	管工事 (管据付工)	基準高 h	$\pm 30\text{mm}$	施工延長40m以内に1箇所及び変化点ごとに1箇所を測定する。		測定基準ごとに管の布設(据付)及び測定状況(位置・深さ・及び全景等)を撮影する。	
		管工事 〔ダクトイル鉄管継手工〕	(社)日本ダクトイル鉄管協会の接合要領書に基づくこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>全箇所を測定する。</li> <li>内管挿入工、推進工等もこれに準ずる。</li> <li>締付トルクについては全箇所測定する。</li> </ul>			
工 事	その他 (コンクリート擁壁工)	基準高 $\nabla$	$\pm 50\text{mm}$	施工延長40mにつき1箇所測定する。 施工延長40m未満は1施工箇所につき2箇所測定する。		測定基準ごとに築造及び測定状況(幅、高さ、厚さ及び全景等)を撮影する。	
		幅 a1 a2	$-30\text{mm}$				
		高さ h	$-50\text{mm}$				
		擁壁厚さ t	$-20\text{mm}$				
		延長	設計値以上				

9-3.別表「出来形管理基準及び規格値」(処理場・抽水所施設工事)

区分	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	写 真 管 理 基 準	適 用
処 理 場 ・ 抽 水 所 施 設 工 事	そ の 他 (塗装工・工場)	塗膜厚	<ul style="list-style-type: none"> <li>a.ロットの塗膜厚平均値は、設計塗膜厚合計値の90%以上。</li> <li>b.測定値の最小値は、設計塗膜厚合計値の70%以上。</li> <li>c.測定値の分布の標準偏差は、設計塗膜厚合計値の20%を越えない。ただし、測定値の平均値が設計塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場塗装終了時に測定する。ただし、工場で上塗りまで塗装する場合は、下塗り終了時と上塗り終了時に測定する。</li> <li>・1ロットの大きさは100㎡程度とする。1ロットあたりの測定数は5点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。</li> </ul>		測定基準ごとに各工程の施工状況(膜厚及び全景等)を撮影する。	
	そ の 他 (塗装工・現場)	塗膜厚	<ul style="list-style-type: none"> <li>a.ロットの塗膜厚平均値は、設計塗膜厚合計値の90%以上。</li> <li>b.測定値の最小値は、設計塗膜厚合計値の70%以上。</li> <li>c.測定値の分布の標準偏差は、設計塗膜厚合計値の20%を越えない。ただし、測定値の平均値が設計塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装終了時に測定する。</li> <li>・1ロットの大きさは100㎡程度とする。1ロットあたりの測定数は5点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。</li> </ul>		測定基準ごとに各工程の施工状況(膜厚及び全景等)を撮影する。	